

茨木市地域エネルギービジョン策定に係る 事業所アンケート調査票

茨木市では、現在、本市の新エネルギー及び省エネルギーの導入の指針となる茨木市地域エネルギービジョンを平成23年2月策定に向け、取り組みを進めているところです。この取り組みの一環として、市内各事業所のエネルギーに関する状況等を把握するとともに、環境CSRへの実施意向等について把握し、エネルギービジョンでの将来目標や施策の検討を進めるため、アンケート調査を実施することになりました。

お忙しいところまことに恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

同封の返信用封筒に入れ、**平成22年9月30日(木)**までに郵便ポストに投函してください(差出人記名は必要ありません)。ご不明の点がございましたら下記までお問い合わせください。

ご回答内容は、自由記述を含めすべて統計的に処理した上で、本調査目的にのみ使用し、ご回答いただいた方の事業所情報や特定のデータが公表されることはありません。趣旨をご理解の上、率直にご記入いただきますよう、お願い申し上げます。

***このアンケート調査は、茨木市が実施主体となり、その委託のもとに株式会社地域計画建築研究所大阪事務所が実施するものです。**

問い合わせ先：茨木市産業環境部環境政策課（担当：松本・井澤）
TEL：072-620-1644 / FAX：072-627-0289
e-mail:kankyoseisaku@city.ibaraki.lg.jp

まず、貴社の業務などについておたずねします。 F1からF6 はあてはまるもの1つの番号に 印をつけてください。 F7 は台数を記入してください。

F1. 業種は	1. 建設業 2. 食料品・飲料製造業 3. 木材・木製品・家具製造業 4. 衣服・その他の繊維製造業 5. 出版・印刷物等製造業 6. 金属製品製造業	7. 電気機械器具等製造業 8. 一般機械器具製造業 9. その他の製造業 10. 電気・ガス・熱供給・水道業 11. 運輸・通信業 12. 卸売業	13. 小売業 14. 飲食店 15. 金融・保険業 16. 不動産業 17. その他のサービス業 18. その他()
F2. 従業員数は (アンケートにお答えの 事業所で、パート・ア ルバイトを含む)	1. 1~9人 3. 30~49人 5. 100~299人	2. 10~19人 4. 50~99人 6. 300人以上	F3. 現在の場所での操業(営業)年 数は 1. 3年未満 3. 10~19年 5. 30~49年
			2. 3~9年 4. 20~29年 6. 50年以上
F4. 資本金は(あて はまるものを1つだけ 選んで番号に 印を つけてください。)	1. 1千万円未満 4. 1億円~5億円未満	2. 1千万円~5千万円未満 5. 5億円~10億円未満	3. 5千万円~1億円未満
F5. 事業所の位置づ けは(複数の場合はご 回答頂いている事業 所についてお答えくだ さい)	1. 本社・本店 3. 工場・事業所 4. その他()	2. 支所・支店	F6. 移転の予定は 1. ない 3. 市外へ移転予定 5. その他()
			2. 市内の他の場所へ 移転予定 4. 現在の場所で新築 予定
F7. 事業所で使用し ている自動車・バイ ク・自転車は何台です か。(保有かリースか を問いません)	1. 大型貨物車 自家用【 】台・営業用【 】台 2. 普通貨物車 自家用【 】台・営業用【 】台 3. ディーゼル小型貨物車 自家用【 】台・営業用【 】台 4. ガソリン小型貨物車 自家用【 】台・営業用【 】台 5. バス 自家用【 】台・営業用【 】台 6. ディーゼル乗用車 自家用【 】台・営業用【 】台	7. ガソリン乗用車 自家用【 】台・営業用【 】台 8. LPG乗用車 自家用【 】台・営業用【 】台 9. 天然ガス車 自家用【 】台・営業用【 】台 10. ハイブリット車 自家用【 】台・営業用【 】台 11. バイク 【 】台 12. 自転車 【 】台	

1. エネルギーについて

貴社または貴事業所におけるエネルギーに関する取り組みについておたずねします。

<p>1-1 貴社または貴事業所は、省エネ法の対象事業者ですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に印をつけてください。対象事業者の場合は、その分類についてもお答えください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 省エネ法の特定事業者である（第1種 / 第2種） 2. 省エネ法の特定連鎖化事業者である（第1種 / 第2種） 3. 省エネ法の特定運輸事業者である 4. 省エネ法の特定荷主である 5. 省エネ法の特定建築物である（第1種 / 第2種） 6. 対象ではない・わからない 												
<p>1-2 貴社または貴事業所は、省エネルギーに関する目標を設定されていますか。設定されている場合は、具体的な目標値等をご記入ください。右表についてはあてはまるものをすべて選んで番号に印をつけてください。 (設定されていない場合は下にお進みください。)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><u>省エネルギーに関する目標を設定されていない事業所</u>におたずねします。あてはまるものを1つだけ選んで右欄の番号に印をつけてください。</p>	<p>例：2000年を基準として、2005年までに電気消費量を5%、ガス消費量を5%減らす目標値の場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;"></td> <td style="text-align: center;">【 2000 】年(度)を基準として 【 2005 】年までに</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">【電気・ガス・ガソリン・軽油・LPG・重油・総エネルギー】消費量を</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">【 5・5・ 】% 減らす</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">記入欄</td> <td style="text-align: center;">【 】年(度)を基準として 【 】年までに</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">【電気・ガス・ガソリン・軽油・LPG・重油・総エネルギー】消費量を</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">【 】% 減らす</td> </tr> </table> <ol style="list-style-type: none"> 1. 省エネルギーは十分行っているのだからこれ以上できない 2. 省エネルギーを推進しているが目標値を設定していない 3. 省エネルギーを行う必要があるのだから目標値の設定予定がある 4. 省エネルギーを行う必要があると思うが具体的な方法などが分からない 5. 省エネルギーに特に関心はない 6. その他 () 		【 2000 】年(度)を基準として 【 2005 】年までに		【電気・ガス・ガソリン・軽油・LPG・重油・総エネルギー】消費量を		【 5・5・ 】% 減らす	記入欄	【 】年(度)を基準として 【 】年までに		【電気・ガス・ガソリン・軽油・LPG・重油・総エネルギー】消費量を		【 】% 減らす
	【 2000 】年(度)を基準として 【 2005 】年までに												
	【電気・ガス・ガソリン・軽油・LPG・重油・総エネルギー】消費量を												
	【 5・5・ 】% 減らす												
記入欄	【 】年(度)を基準として 【 】年までに												
	【電気・ガス・ガソリン・軽油・LPG・重油・総エネルギー】消費量を												
	【 】% 減らす												

<p>1-3 貴事業所において、エネルギー消費量を把握していますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に印をつけてください。把握されている場合は、把握しているエネルギーについて、あてはまるものをすべてに印をつけてください。</p>	<p>1. 把握している (電気・ガス・ガソリン・軽油・LPG・重油・総エネルギー) 2. 把握していない 3. 分からない</p>
<p>1-4 貴事業所において、どのような省エネルギーの工夫や新エネルギーの導入を行っていますか。あてはまるものをすべて選んで番号に印をつけてください。</p>	<p>1. ヒートポンプ式空調設備の導入 2. コージェネレーションシステムの導入 3. ESCO 事業の導入 4. 工場や事務所建物の断熱化、複層ガラスの導入 5. 太陽光発電の設置 6. 太陽熱温水器の設置 7. その他 ()</p>
<p>1-5 電気事業法に基づく電力自由化の動きを受け、関西電力以外から電力供給を受けることが可能となっています。現在、この制度を活かして、関西電力以外からの電力供給を受けていますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に印をつけてください。</p>	<p>1. 受けている 具体的な供給元 () 2. 受けていない 1-7へお進みください 3. 知らない 1-7へお進みください</p>
<p>1-6 (問1-5で「1.受けている」を選択した事業所) 電力使用量をお答えください。</p>	<p>1. 年間_____ kWh 2. 答えられない</p>
<p>1-7 省エネ、新エネの導入に対して、茨木市としてどのようなことに取り組んだらよいとお考えですか。(は3つまで)</p>	<p>1. パンフレット等による情報提供 2. 環境教育の充実 3. 環境フェア等の普及・啓発活動 4. 率先的な自然エネルギー機器の採用 5. 助成金制度・融資制度等の創設 6. 住民参加の機会創出 7. 相談窓口の設置 8. 自然エネルギー導入調査の実施 9. その他 ()</p>

2-6 <問2-5 でマイカー通勤を「できるだけ削減したい」/「ある程度削減したい」を選択した事業所>

マイカー通勤を削減したい理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に 印をつけてください。

- | | | |
|------------------------|-----------------------|-------------------|
| 1. 通勤途中での事故リスクを軽減したいため | 2. 地球環境問題への対応のため | 3. 駐車スペースを削減したいため |
| 4. 駐車場費用を軽減したいため | 5. 渋滞などの遅刻者が出ることもあるため | 6. 通勤手当軽減のため |
| 7. その他() | | |

2-7 茨木市・交通事業者が実施する対策として、マイカー通勤を削減するのに有効と考えられる対策は何だと思えますか。

あてはまるものをすべて選んで番号に 印をつけてください。

- | | | |
|---------------------|-------------------------|------------------------|
| 1. 公共交通の運行時間の延長・増便 | 2. 公共交通の接続時間の短縮 | 3. 公共交通の混雑の緩和 |
| 4. 公共交通の運賃の値下げ | 5. 定期券の大口購入に対する割引 | 6. 駅での駐輪場の整備 |
| 7. 駅でのレンタサイクルの実施 | 8. 通勤のための自転車の事業所への貸与 | 9. 二酸化炭素削減量に応じた優遇策の導入 |
| 10. 企業の環境活動に対する各種支援 | 11. 企業と行政とエコ通勤対策検討の場の設置 | 12. バス・タクシーのバリアフリー化の進展 |
| 13. その他() | | |

2-8 事業者・企業が実施する対策として、マイカー通勤を削減するのに有効と考えられる対策は何だと思えますか。

あてはまるものをすべて選んで番号に 印をつけてください。

- | | | |
|---------------------|-------------------------|-------------------|
| 1. 公共交通利用の奨励 | 2. 時差出勤・フレックスタイム制の導入・拡充 | 3. 従業員への定期券の現物支給 |
| 4. パーク＆ライド利用の推奨 | 5. ノーマイカーデーの設置 | 6. 社有車の持ち帰り禁止 |
| 7. 従業員用駐車場の料金徴収・値上げ | 8. 複数事業所による定期券の一括購入割引 | 9. 従業員用の駐車スペースの削減 |
| 10. 自動車相乗りの推進 | 11. 複数の事業所による送迎バスの共同運行 | |
| 12. その他() | | |

2-9 社有車として電気自動車の導入はどのようにお考えですか。あてはまるものをすべて選んで番号に 印をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|------------------------|--------------------|
| 1. すぐにでも導入したい | 2. 販売価格が下がれば導入したい | 3. 充電器の普及が進めば導入したい |
| 4. 税制優遇などの措置があれば導入したい | 5. 導入は一般に普及が進んだ後、検討したい | 6. 導入したくない |
| 7. その他() | | |

3. CSR について

貴社または貴事業所における CSR (企業の社会的責任) についておたずねします。

3-1 近年、CSR 活動に取り組む企業が増えてきていますが、貴社ではCSR活動に取り組まれていますか？

あてはまるものを1つだけ選んで番号に印をつけてください。

CSR…企業の社会的責任。企業は、自社の利益、経済合理性を追求するだけでなく、利害関係者全体の利益を考えて行動するべきであり、行動法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方です。

1. 現在取り組んでいる 2. 現在取り組んでいないが、今後取り組みを検討している 3. 取り組んでいないし、今後取り組む予定もない 問 3-3 へ

3-2 問3-1で「1. 現在取り組んでいる」、又は「2. 取り組んでいないが、今後取り組みを検討している」と答えた事業所におたずねします。どのような取り組みをされていますか。又は今後取り組みたいですか？ あてはまるものをすべて選んで印をつけてください。

	現在 取り組んでいる	今後	
		取り組みたい	予定なし
(記入例) 3. 里山保全活動、森づくり活動			
1. ボランティア活動全般支援 (NPO・NGO 等支援 (助成制度等含む)、ボランティア休暇制度等)			
2. 子どもの環境学習活動支援 (出前講座等)			
3. 里山保全活動、森づくり活動			
4. 地域の清掃活動			
5. 工場見学の実施			
6. 障害者福祉活動支援			
7. 子育て支援			
8. 国際交流支援 (技術移転含む)			
9. 芸術 (音楽・演劇・美術等) の振興支援			
10. スポーツ活動の支援			
11. まちづくり活動の支援			
12. その他 (具体的に)			

3-3 CSR の取り組みを行う上での課題としてどのようなことがありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に 印をつけてください。

1. 人材不足	2. 本業の忙しさ	3. 情報や知識の不足
4. 業績が不安定	5. 資金不足	6. 経営上のメリットが見えない
7. 利害関係者の理解不足	8. その他 ()	

3-4 今後、CSR の活動を進めるためにどのような支援が必要と感じますか。あてはまるものをすべて選んで番号に 印をつけてください。

1. ノウハウや情報提供	2. 行政の協力	3. 勉強会やセミナー
4. 資金面での支援	5. NPOとの連携	6. わからない
7. その他 ()		

3-5 企業や市民から出資を募り、公共施設や遊休地等に大規模太陽光発電を設置する場合に、貴社、貴事業所では出資してもよいと思いませんか。

あてはまるものを 1 つだけ選んで番号に 印をつけてください。

1. 是非出資したい	2. 出資を前向きに検討したい	3. 全く出資したくない
4. 本社などの判断	5. 方針なし	

(注4) 共同発電は設置に関心のある市民・企業から出資金を集め、そのお金によって太陽光発電を設置し、発電による電気を売ることによって利益を享受し、太陽光発電の普及、重要性のアピール等を行っていく取り組みです。出資金によって配当金は異なり、先進事例では年間配当利回りは2%~3%となっています。

最後に、環境政策、環境と企業活動の関係などについて、どんなことでもかまいませんのでご自由にお書きください。

差し支えなければご記入をお願いいたします。

貴社・貴事業所名		担当部署	
連絡先	住所：	(TEL/Fax)	
		(E-mail)	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

返信用封筒にて、平成 22 年 9 月 30 日(木)までにご返送いただきますようお願い申し上げます。